



“たいせつ”がキョツと。

阪神電車
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY

阪神電気鉄道株式会社
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY CO., LTD.

〒553-8553

大阪市福島区海老江1丁目1番24号

<http://www.hanshin.co.jp/>

NEWS RELEASE

経営企画室(広報担当)

2015年2月12日

梅田駅の改良工事を実施(3月3日着手)します ～お客さまに、より快適で、安心してご利用いただけるよう、 ホームの拡幅、可動式ホーム柵の整備、バリアフリー化を行います～

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市福島区、社長:藤原崇起)では、3月3日から本線梅田駅(大阪市北区)の改良工事に着手します。

現在、当社と阪急電鉄株式会社では「梅田1丁目1番地計画」として、大阪神ビルディング(阪神百貨店梅田本店)などの建替え及び周辺公共施設の整備を進めており、梅田駅北側(地下1階)においては、東西地下道(都市計画道路大阪駅前1号線)の拡幅整備に着手しています。

今般、この拡幅整備を機に、同地下道の直下(地下2階)にも構造物を一体的に構築し、駅空間を拡大することで、ホーム拡幅を行い、合わせて可動式ホーム柵の設置、西改札口側のバリアフリー化等の整備を図ることとしました。

本改良工事により、梅田駅は、お客さまにより快適で、安心してご利用いただける駅に生まれ変わります。

本改良工事の計画概要は、次頁のとおりです。

【梅田駅改良工事 完成予想図】



【梅田駅改良工事の概要】

1 概要

(1) 駅空間の拡大及びホームの拡幅・延伸

① 駅空間の拡大

現在の駅空間を北側（1番線ホーム側）に拡大させます。

具体的には、駅北側に、上下2層の地下構造物を構築し、下層部を駅施設として整備し、駅空間を拡大します。

(注) 上層部は、東西地下道の拡幅部分となります。

② 配線変更及びホームの拡幅

①の駅施設の拡幅部に新たに線路を敷設するとともに、3番線を廃止してホーム2面を拡幅します。

③ 4番線ホームの延伸（6両編成対応）

4番線を東に延伸し、同線を6両編成の車両に対応できるようにします。

(2) 可動式ホーム柵の設置

ホームに、可動式ホーム柵を設置します。

(3) 昇降設備の整備（バリアフリー化）

西改札口側にエレベーター及びエスカレーターを新設します。

(4) その他

東・西両改札口の駅務室等の配置変更を行うとともに、駅施設の美装化を行います。

2 工期

2015年3月3日～2022年度末（予定）

(参考)

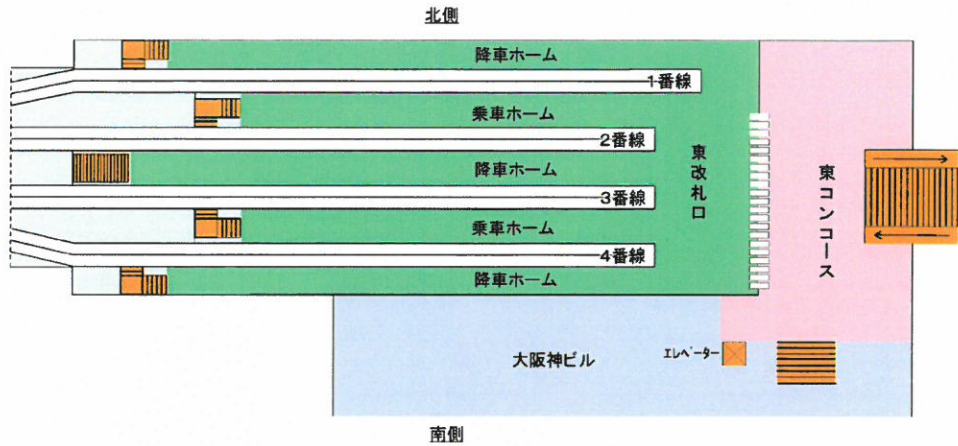
1 梅田駅の歴史

1905（明治38）年4月	阪神電気鉄道開業（大阪側の終点は出入橋駅）
1906（明治39）年12月	出入橋駅－梅田駅間を単線で営業開始
1914（大正3）年6月	出入橋駅－梅田駅間が複線専用軌道化
1939（昭和14）年3月	梅田駅の地下化が完了（現在の梅田駅の位置となる。）

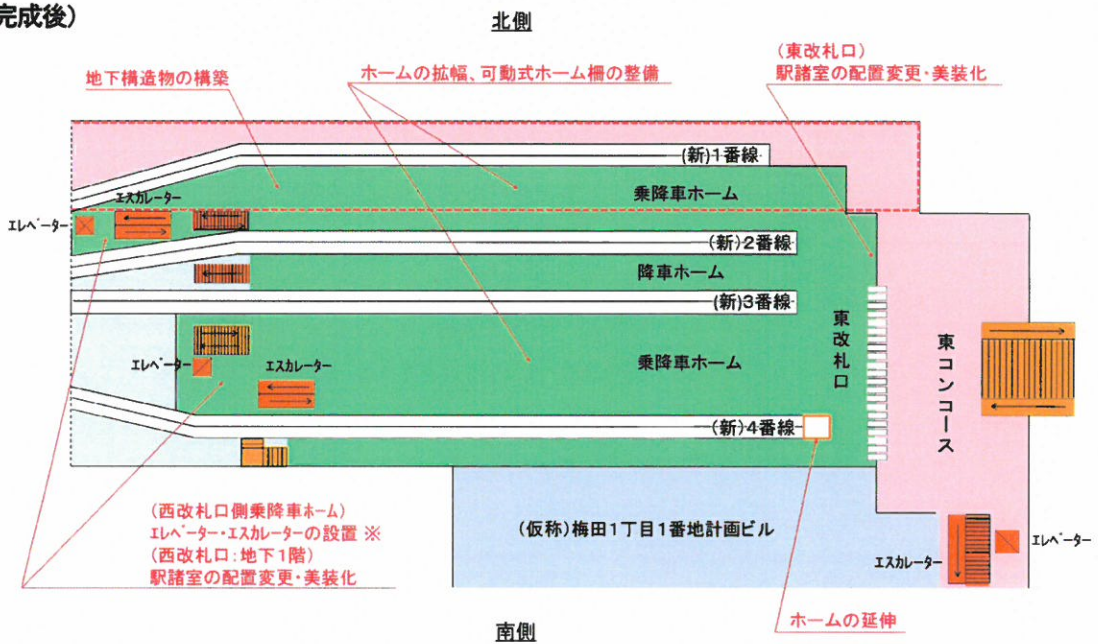
2 梅田駅の乗降客数 1日当たり約16万人（2013年11月の1日平均）

【ご参考：梅田駅改良工事の概要図】

■平面図
(現在)

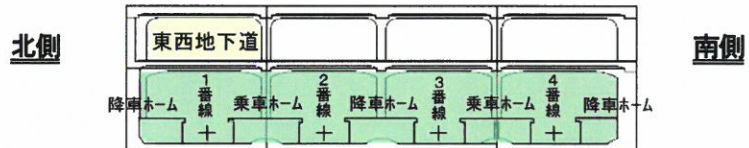


(完成後)



※) エレベーター・エスカレーターの位置については現在計画中であり、今後変更となる可能性があります。

■断面図
(現在)



(完成後)

